

## 経済的な負担

ペットを飼うには、購入代金だけでなく、その後もお金がかかります。

### ●食費

ペットは人とは異なる生き物ですから、その生理に合った食餌を与えなくてはなりません。ほとんどのペットでは成長するにつれて餌の質も量も変わります。高齢や病気のときなどには特別な食餌が必要になります。

### ●ペット用品・設備費

首輪や食器、クレートなどの用品費、ケージ、水槽などの設備費がかかります。初期費用だけでなく、買い替え、修理費、光熱費、水道代など維持管理にかかる費用も考えてください。

### ●健康管理費

ケガや病気の際の治療費だけでなく、ワクチン接種、フィラリアなど各種病気の予防、定期的な健康診断、不妊去勢手術などの医療費がかかります。めずらしい動物の場合は診察できる獣医師が限られたり、特殊な技術が求められるため、医療費はおおむね高額になります。定期的なトリミング（毛のカット）や爪や歯の手入れが必要な動物・品種の場合は、その費用がかかります。

### ●その他

飼養するにあたって、許可や登録、各種ワクチン接種が定められている動物の場合は、その費用がかかります。訓練・調教・しつけなどが必要な動物は、その費用もかかります。

## ポイント8

- ペットの一生にかかる費用を考えてみましたか？



## 生涯にわたる計画

生涯とは、ペットの生涯とともに、あなたの生涯のことも含まれます。

ペットは種類によって寿命が数年のものもあれば、数十年、中には人間よりも長生きするものもいます。一般的なペットである犬やねこでも十数年以上生きます。ペットが高齢になったときの介護のことも考えておかなくてはなりません。

就職、進学、転居、結婚、出産・・・人生には様々な転機があります。将来予測できる生活の変化があった時にペットを飼い続けることができるか、よく考えてみてください。明らかに飼えない状況になることが分かっているのに、飼い始めてしまうのは無責任といえます。

また、あなたが突然入院してしまったり、最悪の場合亡くなってしまったりなど、不幸なアクシデントもあるかもしれません。代わりに飼ってくれる人を見つけておくなど、万一のとき、あなただけを頼りとして生きている命をいかに守ってやるかも考えておくべきことといえるでしょう。

## ポイント9

- 生涯にわたる計画をたててみましたか？



## ポイント10

- 万一、飼えなくなったときのことを考えていますか？



どうでしたか？10のポイント全てに「はい」と答えられたでしょうか。